



なぎちょう
奈義町

9月議会



松神座こども歌舞伎

平成29年9月30日松神神社秋の大祭

144号

平成29年11月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868)36-4191

【おもな内容】

- 9月議会で決まったこと・決算特別委員会 2~4ページ
- 一般質問（8名） 5~12ページ
- 委員会報告 13ページ
- 組合議会報告・政務活動費 14ページ
- 米軍単独訓練の視察・研修会報告 15ページ
- 全国各地から視察・編集後記 16ページ

で議論白熱

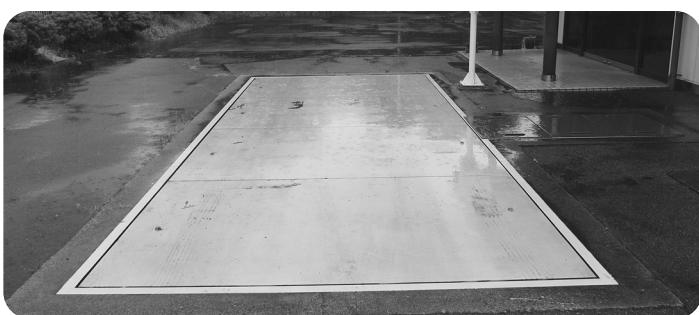
9月定例議会は、9月7日から21日まで15日間行われ、**補正予算**11件、**決算**12件、**報告**2件、**陳情**5件、**意見書**4件、その他2件、計36件を審議し決定。8名の議員が一般質問を行いました。

『補正予算』

リーム機更新の費用を山の駅の収入で賄うと

なっているが、見通しは大丈夫か、との質問がありました。

(全員一致)



修繕が必要な計量器（上町川・旧東部衛生施設組合）

○その他、国民健康保険特別会計補正予算、分譲地造成特別会計補正予算など、10件は、主に、前年度の繰越金の確定によるものです。

(全員一致)

『決 算』

○平成28年度奈義町一般会計歳入歳出決算の認定について

この件については、特別委員会を設置し審査を行いました。（別紙、特別委員会の報告を参照）

21日の本会議において、特別委員会委員長報告が行われ、森藤議員が次のような趣旨の反対討論を行い、その後、採択の結果、賛成多数で認定されました。

森藤議員から、子育て支援策など評価できる点はあるが、地方創生事業のナギカラへの委託金は、その事業が町民との声とは離れて

おり、事業の成果も明確でない等々の討論がありました。

(賛成8、反対1)

『報 告』



力強い経営体育成対策事業で購入のコンバイン

○平成28年度奈義町の公営企業資金不足比率の報告について

国の法律に基づいて、監査委員より、財政判断の報告がありました。いずれも、基準内で

あり、健全との報告でした。

9月 定例議会

平成29年
9月7日～21日

決算認定

陳情の審査結果

陳情名	提出団体	審査結果
要望書（新しい「中学校」及び「保育園等」の建て替えについて）（委員会報告）	保育園保護者会長、幼稚園、小学校、中学校の各PTA会長	継続（全員一致）
要望書（中学校の建て替えと幼保一体型こども園の整備について）（委員会報告）	保育園保護者会有志、幼稚園、小学校、中学校の各PTA有志	継続（全員一致）
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	全国森林環境税創設促進議員連盟	採択（全員一致）
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について	岡山県教職員組合美勝英支部	採択（全員一致）
農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情	岡山県農民運動連合会	採択（全員一致）

陳情の審査結果について
は、左記のとおりです。

陳情

意見書

陳情の採択に伴い、次の
ような意見書を上げました。

- 「全国森林環境税」の創設に関する意見書

この件は、

陳情は採択し

ましたが、奈

義町議会独自

に、国の責任、

税の在り方等

の内容を新た

に書き込んで

提出しました。

見書

この件は、関係機関

より要請があり、内容

を検討の上、奈義町議会でも提出することになつたものです。

（以上、全員一致）
森藤節雄氏
(豊沢353)

その他

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員（2名）

（全員一致）

- 所管事務等の調査について

（全員一致）

浅野恵子氏
(上町川988)

臨時議会報告

第4回臨時会 9月1日

アンドエム特定建設工事共同企業体
(全員一致)

補正予算

平成29年度津山圏域東部衛生施設組合清算特別会計繰越明許費2億6975万円

（全員一致）

専決処分の報告

社会福祉法人の助成に関する条例の一部を、國の変更に合わせる変更。

（賛成6、反対3で可決）

1億3554万円

相手先／森安建設株式会社

（賛成6、反対3で可決）

1億3554万円

（賛成6、反対3で可決）

1億8262万8千円

（賛成6、反対3で可決）

1億8262万8千円

第5回臨時会 9月29日

来る10月22日に行なわれる、衆議院議員選挙費60万円の補正予算を可決。

決算特別委員会報告

特別会計・企業会計

9月11、12、15日に決算特別委員会を開催し、主に次のような質問がありました。

一般会計

支援委託料の成果はどういう形で表われているか、育英金事業の貸付の条件は、

ナギカラの事業費について、細かい数値の報告がなく、委員から指摘する声もあり、15日に延期審査を行いました。

上水道事業会計の未収金の回収についてはどうか、契約水量に対し、配水量が少ないので、

地方創生推進交付金と地方交付税との関係は、どういう仕組みか、地域おこし協力隊の経費について、グランドデザイン等構築

分譲地居住者の高齢化が進んでいるが、対策は考えているのか、

ふん乾燥施設

搾乳施設（内部）



平成28年度の主な事業

●まち・ひと・しごと事業	3億300万円
●有害鳥獣駆除事業	2,500万円
●観光事業	1,900万円
●農地中間管理事業	1,000万円
●中山間直接支払事業	6,700万円
●多面的機能支払事業	4,900万円
●子育て支援事業（町単独）	1億2,500万円

地方創生で論戦

一般質問に8議員



安藤 榮一 議員



災害防止のため雑木の伐採が必要な名義川（中島西地内）

る構想 活用す 敷地を 施設に 隣接す る奈義 町森林 組合の て、町 の各種 について、町 に示す

その他、北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本上空を通過している状況の下、奈義町国民保護計画について質問を行った。

Q 河川の雑木伐採は

A 県に強く要望していく

質問
国民健康保険の運営主体が平成30年度、町から

Q 国保の運営移管は制度に不安を抱える

答弁 町長 今後、河川の氾濫を未然に防ぐために、河川を管理する岡山県に対して強く要望していく。

質問
岡山県が管理する一級河川の滝川（中島西地内）・名義川（荒内西・中島西地内）について、災害防止対策として河川内の雑木伐採を行い、流水断面を保持する必要があると思うが、考えは。

質問
こども園の建設場所は

Q 決定していない状況

答弁 町長 一番の課題は、保険税が今よりも高くなるのではないかということである。見通しがつきにくい制度に不安を抱えている。

質問
県に移管される。加入者の高齢化に伴う医療費の急増などで悪化している国保財政の立て直しを目的とした創設以来の大改革についての意義や課題についてはどうか。

質問
学習指導要領に示されている道徳教育の充実について、今までの成果はどうか。また、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実で教師の教育と確保はどうか。

Q 工夫し取り組んでいる

答弁 町長 現段階では、決定していない状況の中でも申し上げることができない。

Q 地方創生事業の状況は



A 町民皆様と同じ思いの中で進めていく

岡部 英生 議員

質問 地方創生事業の成果が出てきた。しごとコンビニ、まちの人事部事業、旧王将跡地での観光、交流等の拠点整備事業、豊沢住宅跡地の新しい住まい整備事業など、新規事業へ取り組み、それら地方創生事業は順調に進んでいるのか。

答弁 町長 地方創生事業は、地域が再生する可能性の高い計画を作成する自治体のみに交付される事業である。当町の計画は国に高く評価されている。

内容は人口増や雇用など短期での成果があらわれにくいが、にぎわいや人口増えなど、成功した北海道東川町などの事例を見ても、20年、30年と続けたことで結果があらわれる未来への投資と言える事業である。

町民の皆さんにご理解をいただいて、同じ思いの中で事業を進める考え方である。

質問 中学校、こども園の建設に向けて、奈義の未来を託す子どもたちが大きな夢に向かっていけるよう、教育のまち奈義を目指して

Q 子育て教育検討会とは

A ゼロベースで町民皆様と検討



着工した観光交流拠点整備事業

質問 高齢者の社会保障費等の増加による経済的負担の軽減と町内消費の促進を図るため実施された高齢者

Q 高齢者生活応援券の継続を

A 丁寧に対応したい

いると理解しているが如何に。
未来を託す子どもたちのよ
りよい環境を整備し、将来
どのような社会になろうとも生き抜くための力をつけることが必要である。子育てと教育環境をどこに設けるのがよいかを考える場として、ゼロベー
スで検討され、よりよい方向性を定めたい。

質問 学校教育改革プランの専門性を高め、子どもたちにとってよりよいものにし、小中一貫教育・幼児教育やこども園、教科センター方式の学びや障害児教育、高校生の居場所づくりなど、連携から一環への具体的なことを議論して、答申をいただきたい。

Q 教育改革推進委員会の目的は

A 連携から一貫教育へ

生活応援券制度は評判がよく、次年度からも継続していただきたいと思うが。
第7期の介護保険料と密接な関係があり、他市町村の介護保険料の動向などを参考に検討し、継続交付については、丁寧に対応したい。

Q 地方創生事業の細かい説明を



鷹取 渡 議員

A わかりやすい言葉で ていねいに

質問 先般、追加交付金があり、2億円の事業費が決まったが、多くがソフト事業で、町民には、その内容がわかりにくいものが多い。以前にも質問したが、きめ細かな説明が必要ではないか。今回示された働き方改革と、地方創生人材育成推進事業とは、どんなものか。計画されている内容が、移住・空き家・観光・交通など幅広く、まちづくり戦略室とナギカラだけで事業が進められるのか。

答弁 町長

地方創生事業

の目的は、現在の人口をできるだけ維持し、元気な経済がある町をつくって行くための未来への投資と考えている。事業を進める中で、片仮名文字を多用したためにわかりにくかったと思うので、できるだけやさしく、理解しやすい言葉で説明していく。「働き方改革と地方創生人材育成事業」は、この事業を主導し牽引していく人材が必要であり、中でも役場職員は中心的な役割を果たさなくてはならぬ



16式機動戦闘車

いため、職員を中心に行なう合意形成や相互理解をサポートし異なる意見をまとめる能力などを研修するものだ。

創生事業は多岐にわたる事業も多く、まちづくり戦略室を創設し、また町民の中からも人材を求め、町民の皆さんと役場・ナギカラと協働し、オール奈義町で取り組んでいきたい。

質問 日本原駐屯地の特科隊や戦車中隊の配置替えで戦力の低下や隊員数が減少するのか。大きな災害も発生しているし、北朝鮮の動向も気になるところで、国への陳情を強めていただきたい。

答弁 町長 北朝鮮のミサイル開発などで、自衛隊の組織が陸上自衛隊から海上と移り、限られた隊員の中で縮小される状況にある。駐屯地の縮小は地域の経済にも影響があり心配される。これからも戦力の増強や、駐屯地の維持・存続・隊員確保に、要望や陳情を強く実施していく。

Q 国の計画で日本原駐屯地はどうなるようだ

A

隊員数は減少となるようだ

Q 小商いマーケットプレイスの管理運営は



岡 親佐 議員

A 自立した運営を目指す

質問

王将跡地の小商いマーケットプレイスの工事が始まり、一階部分に観光案内所とまちの営業部の事務所、二階には、ベーカリー、カフェの出店が計画される。多くの町民が利用できるような施設であると聞いているが、地方創生交付金がなくなつたら管理運営はどうに考えていいのか。

答弁 町長 管理運営は、現在、職員プロジェクトチームを中心に、先進事例視察などを行い、最善の方法を検討している。
運営主体としてはビジット奈義、ナギカラなどを候補として検討している。

Q ふるさと納税返礼品は現状でいろいろな方法を模索中

王将跡地の小商いマーケットプレイスの工事が始まり、一階部分に観光案内所とまちの営業部の事務所、二階には、ベーカリー、カフェの出店が計画され、多くの町民が利用できるよう、施設であると聞いているが、地方創生交付金がなくなつたら管理運営はどうに考えていいのか。

答弁 町長 管理運営は、現在、職員プロジェクトチームを中心に、先進事例視察などを行い、最善の方法を検討している。
運営主体としてはビジット奈義、ナギカラなどを候補として検討している。



小商いマーケットプレイスの完成予想図

質問

28年度ふるさと納税者は、369件、29年度8月末68件となつてある。少しでも多くの人に納税いただけるよう、5割程度の返礼

品にしてはどうか。

答弁 町長 ふるさと納税は行政の財源のみならず、地域産業の振興に資する重要な制度で、返礼率の

見直しに限らず、より多くの方々から本町を応援していただける方策を模索している。

答弁 町長 水田活用の直接支払交付金、転作料は平成30年以降も継続の予定であり、経営所得安定対策として、奈義町農業再生協議会において、特色ある農作物の生産を目指した水田フル活用ビジョンを策定し、国の戦略作物、町の奨励作物で収益性の高い作物に転換して交付金の活用を検討してもらいたい。

質問

A 現在農林水産省から財務省へ概算要求中

Q 大型農家の安定経営を

Q 大型農家の安定経営を



桑村 由和 議員

Q 地方創生関連事業の現状と今後について

A 丁寧に説明して進めていく

質問 ナギカラへの町職員の理事就任と出向の意義について。

答弁 町長 実施する地方創生の業務に変更はないが、町民のみなさんに町とナギカラの連携を見る形にしました。

質問 しごとコンビニに人材センターを移管することによって町民の皆さんができる利便性の向上と利益について。

答弁 町長 本来の社会福祉協議会の業務より人材センター業務が多くなりすぎたため、本来の業務に専念していくために移管した。

質問 非常に面白い制度なのでうまく行ってほしいと思うが、ナギフトポイント制度の運用について。

答弁 町長 多くの商店の方に参加頂くことが重要であると考えており、活性化支援券などもカードに取り入れて加盟店を増やしていきたい。



こども園視察（真庭市天の川こども園）

質問 王将跡地の建物の運営方法、にぎわいの作り方、周辺整備の計画、全体の構

答弁 町長 多くの商店の方に参加頂くことが重要であると考えており、活性化支援券などもカードに取り入れて加盟店を増やしていきたい。

質問 保育園、幼稚園のこども園化は、施設整備のコンセプト、機能、運営方法、周辺整備など十分に検討して事業を進めるのが理想であるがタイトなスケジュールになっており、運営方法などは、今後検討する。

質問 デマンド交通の拠点になるというのは、どうなったのか。

答弁 町長 デマンド交通については、関係省庁との

質問 中学校の新築についてゼロベーチ度耐震調査により、やり直すと町民の皆さんへ発表したが、前回と同じ提案をすることがあるのか。

答弁 町長 町民の皆さんと共に考える子育て教育検討会の意見を参考に提案していく。

質問 いつまでもため続けると住民の方へのサービスが減るのではないか。

答弁 町長 住民サービスの低下はいけないこと正在している。

質問 保育園と中学校の改築について

答弁 町長 専門家や子育て教育検討会等の意見を参考にする

質問 奈義町の財政運営について

答弁 町長 財政運営上の問題はない

質問 ここ数年、実質収支比率が高止まりしているが。これは20%以内であれば問題ないと認識している。

質問 基金の適正な金額はどのように考えているのか。

答弁 町長 一般会計については20%以内であれば問題ないと認識している。

質問 基金の適正な金額はどのように考えているのか。

答弁 町長 今後、公共施設、インフラの整備等があり、現時点の40億円の基金は多過ぎない。

質問 いつまでもため続けると住民の方へのサービスが減るのではないか。

答弁 町長 住民サービスの低下はいけないこと正在している。

Q 地方創生の中での農業振興は



中井 泰洋 議員

A 農業は基幹産業！ 充実を検討する



今年も豊作！

質問 基幹産業は農業と言われているが、来年から転作目標が無くなり、米の直接支払交付金が無くなると聞いている。

来年度以降の施策はどうなるのか町長に問う。

答弁 町長 米の生産数量

目標を30年度から、米の直接支払交付金についても29年度産をもって廃止することが決定している。

米の生産目標については、奈義町農業再生協議会が、国・県の発表する需要動向などを用いて目標値の設定を行い、米価の下落を抑制

したいと考える。

転作料については、農政局から30年以降も継続して交付する予定の連絡が入っている。

町としては、今後も収益性の高い野菜などへの奨励をしていきたい。

答弁 町長 今年も収益性の高い野菜などへの奨励をしていきたい。

Q 今後の農業・農産物について 総合的に方向性を示す

質問 今後の農業についてどのように考えているのか。

Q 農業施策の充実について A 基幹産業であるので、充実を検討する

今後の農業振興の方向性を示していきたい。

答弁 町長 今後の農業振興の方向性を示していきたい。

の所得向上を目指した取り組みを総合的に推進していく必要がある。

答弁 町長 農業者

の所得向上を目指した取り組みを総合的に推進していく必要がある。

答弁 町長 農産物の付加価値を高める必要があり、安全を確保し、より良い農業生産を行うGAPの取得は必要と考えている。新しい栽培方法の検討、研究、地産地消、地産外商、6次産業化の推進など、農業者の所得向上を目指した取り組みを総合的に推進していく必要がある。

答弁 町長 農産物の付加価値を高める必要があり、安全を確保し、より良い農業生産を行うGAPの取得は必要と考えている。新しい栽培方法の検討、研究、地産地消、地産外商、6次産業化の推進など、農業者の所得向上を目指した取り組みを総合的に推進していく必要がある。

Q もう少し林業に力を入れることができる支援は、しっかりと考えながら検討する

質問

近隣市町村の取り組み等を参考にして、もう少し林業に対して力を入れることができるないか。

質問

できる支援は、しっかりと考えながら検討する



間伐材搬出中（奈義町森林組合）

答弁 町長 森林の適切な管理について、今後も国、県、森林組合などの林業関係者との連携、近隣市町村との情報交換、先進事例の研究や検討を行っていきたい。

答弁 町長 農業は奈義町の基幹産業である。他の施策との調整を行いながら、農業分野の充実を検討する。

答弁 町長 農業は奈義町の基幹産業である。他の施策との調整を行いながら、農業分野の充実を検討する。



岡 立議員

Q まちづくりの方向性に温度差が

A 丁寧な情報提供で理解を深めたい

質問

頑張る自治体には、交付金を出して応援すると、早2年。今までにないスピードで進むまちづくりは、町民の目に留まりやすく、賛否両論の声があがっている。目的が、ぶれていいのか。理解が深まっているか伺う。

答弁 町長 理解は、まだ深まっていない。なお一層の広報で周知につとめたい。

質問 説明については理解したが、声を聞く事の努力は足りてないか。

答弁 町長 いろいろな場面で声を聞き、始めた事業であり、その後も声を聞く場を設け、説明し理解してもらえる様つとめている。

質問 理解が深まらないのは、説明で理解を求めていて、声を聞く姿勢が、町民に見えていないのではない

質問 押しつけるつもりはないが、チャンスを逃がさず、早期実施で、効果を上げたい。計画の成功、失敗は

質問

頑張る自治体には、交付金を出して応援すると、早2年。今までにないスピードで進むまちづくりは、町民の目に留まりやすく、賛否両論の声があがっている。目的が、ぶれていいのか。理解が深まっているか伺う。

答弁 町長 理解は、まだ深まっていない。なお一層の広報で周知につとめたい。

質問 説明については理解したが、声を聞く事の努力は足りてないか。

答弁 町長 いろいろな場面で声を聞き、始めた事業であり、その後も声を聞く場を設け、説明し理解してもらえる様つとめている。

質問 理解が深まらないのは、説明で理解を求めていて、声を聞く姿勢が、町民に見えていないのではない

分からないので、やってみる価値はあるが、修正のきくことと、きかないことが

ある。修正のきかない件についてでは、もう少し慎重にすべきではないか。例えば、王将の建物だが、町の玄関口となり、賑わいの中心にならぬとの計画だが、設計図を見る限り、賑わいの中心になるとは思えない。慎重

さが必要だったのではない

か。

答弁 町長 今後は慎重に、

誤解のないようにしたい。

いて把握できているか。

答弁 町長 できている。

情報の共有はできているか。

質問 情報の共有はできているか。

質問 関係各課では共有しており、学校、教育委員会、こども長寿課では、年1回協議会を開催している。

質問 支援の手は充実しているか。就労支援、ネウボラ制度の取り組み、つなぐシート等、取り入れてみたらどうか。

質問 今、子ども食堂が各地で開かれている。同じものでなくとも、まちづくりの一環として、モデル事業ができないか。

質問 大切なこと。それそれを研究していきたく。

質問 ネウボラとは：フィンランドの子育て支援。妊娠から就学まで、広くは家族全体の心身のサポートを専任で一人が担当する。



早くほしいこんな居場所
（「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアー実行委員会提供）

質問 6～7人に1人はいるという子どもの貧困につ

A Q 子どもの貧困への取り組みは地域の力を借りて進めたい

質問 情報の共有はできているか。

質問 関係各課では共有しており、学校、教育委員会、こども長寿課では、年1回協議会を開催している。

質問 支援の手は充実しているか。就労支援、ネウボラ制度の取り組み、つなぐシート等、取り入れてみたらどうか。

質問 今、子ども食堂が各地で開かれている。同じものでなくとも、まちづくりの一環として、モデル事業ができないか。

質問 大切なこと。それそれを研究していきたく。

質問 ネウボラとは：フィンランドの子育て支援。妊娠から就学まで、広くは家族全体の心身のサポートを専任で一人が担当する。

Q 中学校は今ある所で改築を



森藤 政憲 議員

A 現在地か移転かは中立の立場で

質問 中学校の耐震不足問題の解決は、今ある所で改築（または、改修）すべき、との声が町民の多数である。この声に町長はどう応えるのか聞きたい。

A 町長 中学校の移転には、心配や批判の声があることは、重々、承知している。時間をかけて、慎重に検討を進めたい。中学校の今ある所での改築か、それとも、小学校西側への移転かは中立の立場で臨む。

質問 今の中学校づくり（地方創生事業）は、ナギカラ主導となっており、町民の声が反映していない。町づくりの基となっている、地域再生計画はナギカラ主導で作られ、町民や議会の意思是反映されていない。

A 町長 ナギカラ中心の町づくりから町民主体の町づくりへ、ナギカラ主体ではない

質問 中学校の耐震不足問題の解決は、今ある所で改築（または、改修）すべき、との声が町民の多数である。この声に町長はどう応えるのか聞きたい。

答弁 町長 中学校の移転には、心配や批判の声があることは、重々、承知している。時間をかけて、慎重に検討を進めたい。中学校の今ある所での改築か、それとも、小学校西側への移転かは中立の立場で臨む。

質問 今の中学校づくり（地方創生事業）は、ナギカラ主導となっており、町民の声が反映していない。町づくりの基となっている、地域再生計画はナギカラ主導で作られ、町民や議会の意思是反映されていない。

答弁 町長 中学校の耐震不足問題の解決は、今ある所で改築（または、改修）すべき、との声が町民の多数である。この声に町長はどう応えるのか聞きたい。



人数が増え、対策が急がれる放課後児童クラブ

質問 今の中学校づくり（地方創生事業）は、ナギカラ主導となっており、町民の声が反映していない。町づくりの基となっている、地域再生計画はナギカラ主導で作られ、町民や議会の意思是反映されていない。

A 町長 ナギカラ中心の町づくりから町民主体の町づくりへ、ナギカラ主体ではない

質問 今の中学校づくり（地方創生事業）は、ナギカラ主導となっており、町民の声が反映していない。町づくりの基となっている、地域再生計画はナギカラ主導で作られ、町民や議会の意思是反映されていない。

質問 今の中学校づくり（地方創生事業）は、ナギカラ主導となっており、町民の声が反映していない。町づくりの基となっている、地域再生計画はナギカラ主導で作られ、町民や議会の意思是反映されていない。

質問 今の中学校づくり（地方創生事業）は、ナギカラ主導となっており、町民の声が反映していない。町づくりの基となっている、地域再生計画はナギカラ主導で作られ、町民や議会の意思是反映されていない。

質問 児童ホームの入所児童が100人を超えるため、環境を整えるため、しっかりとバックアップをしたい。

質問 児童ホームの入所児童が100人を超えるため、環境を整えるため、しっかりとバックアップをしたい。



人数が増え、対策が急がれる放課後児童クラブ

委員会報告

総務常任委員会

子育て教育検討会は？

9月5日、所管事務の調査を行った。主な質疑は次の通り。

問..子育て教育検討会の設置状況について。

現在、25名が承諾している。これで出発するのかまだ増やすのか。（最終的に29人）

答..人数が揃っていない。50名にならなくても見切れり発車をし、協力者を得ながら進めていく。

問..防災士の養成について、その仕事と役目は。

防災の技術を伝達してもらいう。区長とともに自ら防災の要になつたいただけ。

問..町で実施の要支援サー

ビスは順調に行っているか。

答..要支援の総合サービス

をよく利用されており、順調に行っている。

問..介護保険計画の策定で県との関わりについて。

答..前回も県とのヒヤリングはあった。

まちづくり・文教常任委員会

9月6日、執行部及び担当課長出席のもと委員会を開催し、所管事務の調査を行った。主な質疑は次の通りです。

問..仕事コンビニの売上げ金額が直前か直後を検討。

問..自衛官に町内に家を建てるように進めては。

答..PRのタイミングが難しい。

問..菩提寺に観光バスが来るツアーガ計画されているが道路は大丈夫か。

答..木の枝が出ているところがあり対応している。

問..美作岡山道を53号線に結ぶ要望を。

答..毎年、国、県に要望しております。継続して取り組む。

問..下水道、浄化槽の接続率が低い。

8月29日に委員会を開催した。2月23日に提出された保育園保護者会長・幼・小・中PTA会長連名の要望書と、5月26日に提出された、保・幼・小・中の保護者有志代表から提出された要望書の取り扱いについて協議した。6月議会で当委員会に審査を付託されたものであり、委員全員から意見を聞いた。主なものは、同一団体の会長の連名と保護者有志の連名どちらに重きがあるか。

●28年度と29年度に提出されている、どう扱うか。

●執行部や教育委員会からはつきりした提示がなされない。

●28年度と29年度に提出されている、どう扱うか。

●執行部や教育委員会からはつきりした提示がなされない。

保育士と幼稚園教諭の両方の免許を持った人を集めることが重要で、どちらかの免許を取得する補助もしているとのことだった。

が今年は町内外同じ料金としたのは。

答..同じサービスを提供しているという観点から。

答..毎年11月頃に職員で浄化槽の設置のお願いに、訪問している。

答..アートdeミートの料金

を賛成多数で決定した。

10月2日、委員会の研修視察として、真庭市の市立天の川こども園と、市立久世こども園の2施設を訪問した。

保育園、幼稚園、中学校今後のあり方特別委員会報告

(13) 奈義町議会だより 144号

組合議会報告

津山圏域資源循環施設組合

8月16日、津山市役所において、8月臨時会が開催された。

議長に中島完一氏（津山市）、副議長に松島啓氏

（美咲町）、監査委員に仲西祐一氏（鏡野町）を選出後、議案審議を行った。平成28年度津山圏域資源循環施設組合繰越明許費4500万円を翌年度に繰り越す報告があつた。

（鷹取、岡部議員）

消津防山組圏合域

7月21日、7月臨時議会を開催。

高規格救急自動車他の購入、監査委員の選任について等5議案1報告があり、全員一致で可決した。

（監査委員）

10月11～12日、消防組合議会で視察研修を行った。

三田市の（株）モリタでは、最新の消防車等の説明を受



け、神戸の人と防災未来センターを見学した。
加古川市消防本部では、高機能消防指令センターの視察研修を行つた。

平成29年度前期分政務活動費報告書（平成29年4月～9月）

議員氏名	収支報告額（実績） 単位：円							支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	合計		
桑村由和		40,165			2,376		42,541	42,541	全国市町村国際文化研修所市町村議会議員研修受講（3回）、「シリーズ田園回帰8」購読料
中井泰洋							0	0	
岡立		6,530					6,530	6,530	全国市町村国際文化研修所市町村議会議員特別セミナー受講
岡親佐							0	0	
鷹取渡					11,316		11,316	11,316	「地方議会人」他購読料
安藤榮一					5,912		5,912	5,912	「地方議会人」他購読料
芦田一郎					17,995		17,995	17,995	「地方議会人」他購読料
森藤政憲			20,466		4,512	5,032	30,010	30,010	議会報告会開催、「地方議会人」購読料、「森藤まさのり議会だより」発行
岡部英生					3,808		3,808	3,808	「防衛政策の眞実」他購読料
小阪四郎							0	0	
計	0	46,695	20,466	0	45,919	5,032	118,112	118,112	

政務活動費とは…奈義町議会では、月に1万円の予算で半年ごとに、領収書をつけて、実績報告をします。そして、請求した金額が、6万円以内で支給されます。

米軍演習を視察（原村演習場）



訓練概要説明



整地訓練



勝田郡議会議員
協議会研修会

8月22日、勝央町総合保健福祉センターにおいて勝田郡議会議員協議会研修会が開催された。税理士法人長谷川会計、佐藤祐太郎氏より『地方公会計制度（統一的な基準）について』と題しての研修を受講した。

町村議員研修会

8月4日、県市町村振興センターにおいて町村議会新任議員研修が開催された。奈義町より3名の議員が参加し、全国町村議會議長会議事調査部参与・横田優氏による「地方議会の役割－一般質問のあり方を考える」と題して研修を受けた。研修内容は、
①地方自治体の仕組み
②一般質問について
③議会の活性化につながる取り組みについてなどを聴講した。



夏祭りに定着“きゅうり棒”

奈義町を想う議員の会

天候の味方もあり、盛大に行われた夏まつりには今年もきゅうり棒に行列ができ、完売できました。

ありがとうございました。



全国各地からの視察



京都府町村議会議長会



滋賀県犬上郡町村議会議長会



神奈川県大井町議会

平成29年度

4月11日	新潟県議会	子育て支援について（合計特殊出生率2.81達成について）
4月20日	佐賀県神埼市議会	子育て支援について
5月9日	山口県下関市議会	子育て支援について 「自然エネルギーの活用」について 伝統文化振興（横仙歌舞伎）について
5月26日	岡山県勝央町議会	出生率、子育て支援全般について 高齢者支援対策について 移住定住の取り組みについて
7月5日	神奈川県中井町議会	子育て、出生率について 職員採用について（アクティブラーニング）
7月10日	京都府宮津市議会	子育て支援、定住促進の取り組みについて
7月19日	岡山県議会	子育て支援施策について
7月21日	香川県綾川町議会	子育て支援について
7月25日	茨城県土浦市議会	出生率向上の取り組みについて
7月26日	宮城県大和町議会	人口減少対策の取り組みについて (合計特殊出生率2.81の取り組みについて) 自衛隊と共に発展するまちづくり
8月4日	宮城県涌谷町議会	若者定住施策（町外から人を呼ぶ、町内の人気が流出しない） 企業誘致（若者の働く場の確保） 子育て支援施策
10月5日	京都府町村議会議長会	議会の活性化 定住、子育て支援について
10月6日	滋賀県犬上郡町村議会議長会	子育て支援施策について（高等学校就学支援金含む） 防犯カメラ設置について さと丸福祉バスの運行について
10月12日	神奈川県大井町議会	子育て応援宣言の取り組みについて 病児、病後児保育について
10月25日	岩手県矢巾町議会	子育て支援施策について
10月26日	京都府宇治田原町議会	議会の活性化について
10月31日	茨城県鉾田市議会	子育て支援施策について

議委員
長 員
副委員長
小中岡 森岡 芦
阪井 藤部田
四泰政英一
郎洋立憲生郎
【編集委員】

かしくなっています。秋の長雨で気候がお
かしい。体調にはお気をつけ下さい。
衆議院選挙も終わり、新しい国会が構成され
ました。国民の負託を受けた議員がその意味
をしっかりと受け止めて頑張っていただきたい
のです。私たち町議の任期も、あと1年数か月となり
ました。3年近くの活動をふり返り、反省すべき点は反省し、町民皆さんへの負託に応えら
れます。取り組んでまいります。ご支援、ご鞭撻をよろしくお願い致します。
（森藤政憲）

編集後記